

第20課

旅立ち

総合日语第四册

- * 婉曲的に依頼の気持ちを伝えることができる。
- * 瞬間的な表出の場面で、日本語らしい簡単表現を使うことができる。
- * **短いスピーチ**で心を伝えることができるとともに、他者のスピーチが評価できる。
- * クラスでスピーチ発表会を準備し、進めることができる。

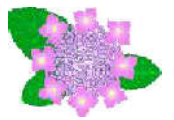
1. Nなくしては Vない <不可或缺的条件性动作>

- * **意味:** 「～がなければ、～ない」「～しなければ、～ない」という意味を表す。文末で否定表現(ほとんどは可能形「～(ら)れない」)と呼応する。文章語。

“如果不～就(不能)～” “若没有～就(不能)～”

- * 彼**なくしては**会が**はじまらない**。

- * **同義文型:** 「N**なしには** V**ない**」 (第12課)
 - ≒ 「V**ずには** V(可能)**ない**」 (第13課)
 - ≒ 「V**ないことには** V**ない**」 (第19課)



2. V べく

<目的>

- * **意味**：「～をするために」「～することができるように」という目的を表す。「べく」は文語の助動詞「べし」の連用形。文章語。
- * **区別**：「～ために」と置き換えることが可能だが、個人の意志というより、当然の義務という気持ち「～べく」には込められている。
 - * 家を買うべく貯金している。
 - * 家を買うために貯金している。

3. Nの節は

<時間的限定>

* **意味**：「～のとき」という意味を表す。手紙や電話などの丁寧な会話で多く使われ、敬語と結びつくことが多いのが特徴である。

* **接続**： 名詞 + の + 節(は／に／には)

動・形・形動の連体形

* **その節**はいろいろお世話になりまして、本当にありがとうございました。

* **お暇な節**は、是非お越しくださいませ。

* **貴国を訪問した節**、何かと私どものためにお骨折りくださり、誠に感謝に堪えません。一同を代表して心からお礼を述べさせていただきます。



練習

- 1、ここから見える景色は美しく、まるで_____。
- 2、彼女は女優を続けるかたわら、_____。
- 3、いくら働いても、こう物価が高くては_____。
- 4、おすしを食べる度に、日本に留学していた頃 _____ のことを_____。
- 5、今回ほど家族のありがたみを_____。
- 6、熱がありますが、大切な試験があるので学校を休む_____。

- 7、最近仲良くなっただけに、_____。
- 8、よほどのことがない限り、_____。
- 9、これからどうすればいいのか、考えれば考え
えるほど_____。
- 10、今回の優勝は、選手みんなの努力の結果に
_____。

演讲-见证语言的力量

- * http://www.iqiyi.com/a_19rrhc12s5.html (北京卫视-我是演说家)
- * http://www.iqiyi.com/a_19rrhb0yyt.html?vfm=2008_aldbd (安徽卫视-超级演说家)

* 演説

多数の人の前で自分の意見や主張を述べる方法。

* 言語学知識①

言葉は、人間が話す・書くなどの行為をする事によって**情報伝達手段**となりうる意味があるものの総称。心・気持ち・思い・考え等を表す手段の一つである。（鈴木孝夫）

* 言語学知識②

大きさも重さもない符号
である言葉は人間のもつと
も重要な交流手段である。



言葉の力を忘れ
てはいけない

学習目標 ユニット 2

エッセイ形式の意見文を読んで理解することができる。

未来の自分や後輩にメッセージを伝えることができる。

「20年後のわたし」をテーマに、グループ相談をし、発表しなさい。

1. N といえるほどのものではない

<不足以称之为该事物>

- * 新出文型：「～と言う/言えるほどのものではない」
- * 同義文型：「～と言う/言えるほどの～ではない」
「～と言う/言えるほどではない」

- * 算不上是真正的…；谈不上是…；
还不到…的程度。



例

算不上是真正的…；谈不上是…；还不到…的程度

- * これは歓迎会というほどのものではありません。
- * 彼は学者というほどの学者ではない。
- * 日本通というほどではありませんが、日本のことをすこし知っているだけです。
- * 英語は少し勉強しましたが、通訳ができるというほどではありません。

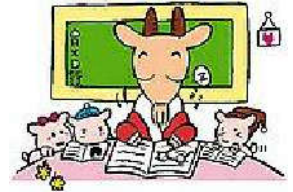


2. ～ながら（も）

<转折>

- * **意味:** 「～けれども、同時に～」や「～のに」に相当する逆説表現を作る。

“虽然…却…”



- * **接続:** 動詞の連用形・ない形
形容詞・形動の連体形
名・形動語幹（＋であり）

＋ながら（も）

例

- * 彼は、その事件を知っていながら、知らないと言った。
- * わからないながらも、一生懸命に話を聞いた。
- * そのホテルには、小さいながらも室内プールがある。
- * 中国人でありながら、中国の歴史を全く知らない。

